

小中学校給食費の保護者負担を軽減 ～小学校は無償化し、中学校は保護者負担額を軽減します～

1 目 的

食材費の値上げに伴い、令和 8 年度から小中学校の学校給食費を改定します。

これと同時に、子育て世帯への支援のため、小学校では「給食費負担軽減交付金」と「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、給食費を無償化します。また、児童が長期にわたり給食を受けない場合には支援を実施します。

中学校では、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、引き続き保護者負担額を据え置くとともに、市立中学校に同時に通う生徒が 2 人以上いる世帯の経済的な負担を軽減するため、2 人目以降の給食費を無償化します。

2 概 要

(1) 小学校における支援

ア 給食費に対する支援（軽減見込額：約935,000千円）

令和 8 年度の給食費と保護者負担額 ※ 1 食当たり

給食費 (A)	市負担額 (B)	保護者負担額 (A-B)
335円 (前年度比 +30円)	335円	0円

イ 給食を受けない児童に対する支援（予算額：11,440千円）

児童が、不登校や食物アレルギー、宗教上等の理由で長期にわたり給食を受けない場合、「給食費負担軽減交付金」の基準額相当（月額5,200円）を支援します。

(2) 中学校における支援

ア 給食費に対する支援（軽減見込額：約140,000千円）

令和 8 年度の給食費と保護者負担額 ※ 1 食当たり

給食費 (A)	市負担額 (B)	保護者負担額 (A-B)
385円 (前年度比 +35円)	100円	285円

※ 中学校の保護者負担額は、平成27年度から据え置いています。

イ 中学校に通う生徒が 2 人以上いる世帯への支援（軽減見込額：約33,000千円）

市立中学校に同時に通う生徒が 2 人以上いる世帯について、2 人目以降の給食費を無償化します。

※ 無償化対象の生徒は625人の見込み

例：市立中学校に 2 人通う場合

中学 3 年生

中学 1 年生



285円



無償

保護者負担額（1 食あたり）